



能勢分校7期生31名が入学しました



4月5日（金）に入学式を開催しました。

3月の降雪など今春は想定外の気候が続きましたが、当日は満開の桜に迎えられました。晴れやかな天候のもと、能勢分校7期生、31名が新たに「チーム能勢」に加わりました。

入学式では1年生の代表生徒が、能勢分校入学にあたっての意気込みを「新入生誓いの言葉」として話してくれました。

菅原准校長が、「高校生活の三年間では、学業と並行して、自分自身の『やりたいこと』『できるようになったこと』『社会から求められること』の三点を磨き続けてください。」と、新入生にエールを送りました。また、祝辞・祝電などたくさんの心温まるお祝いのメッセージをいただきました。

4月8日（月）には3学年揃って、対面式・始業式・着任式を行いました。生徒会長による「在校生歓迎の言葉」と題した先輩からの温かなメッセージや、新入生の代表生徒による力強い「新入生あいさつ」など、お互いに緊張しつつも、和やかな式となりました。

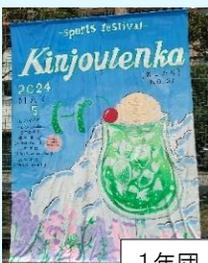
2024年度体育祭を開催しました



3年団



2年団



1年団

「花様年華」とは中国の四字熟語で、日本では青年期後期を意味することが多く「花のように綺麗な時期」という意味もあるそうです。



5月24日（金）、雲ひとつない晴天の中、体育祭を開催しました。今年のスローガンは『花様年華』。この日のために、各学年が花を基調としたオリジナルティ溢れるシンボル（団旗）を作り上げ、グラウンドに掲げました。来場された皆さんはその鮮やかさに目を奪われていました。

各競技にはPTA保護者の方々や教員も加わり、応援団からの声援も一層盛り上がりました。また、今年もささゆり学園から4年生が障がい物競争で参加しました。小学生はたくさんの声援を背中を受けながら、全員が一斉懸命走り切りました。高校生は競技がスムーズに進むよう、小学生に声を掛け、上手くりードしていました。

午後の部は応援合戦から始まり、各団、クラスのカラーを押し出した演技を披露しました。なかでも3年生はソーラン節を盛り込んだ素晴らしい演技でした。その後、球技の部として場所を体育館に移し、ソフトバレーボール・公式球バレーボールを行いました。今年からは空調設備が入り、快適に競技することが出来ました。

午前、午後と全校生徒が一丸となり、最後まで自分たちの手で体育祭を盛り上げようという意気込みが感じられました。この体育祭で培った団結力を、これからの学校生活に多いに生かしていきたいと思えます。

この体育祭の準備の様子が能勢分校HP掲載のInstagramからお楽しみいただけます。ぜひご覧ください！



能勢・豊能地域学校連携・一貫教育 小中高連携の取り組み

能勢地域学校連携・一貫教育では「能勢の宝である子どもたちを学校・家庭・地域・行政が一体となって育てよう」を理念とし、能勢ささゆり学園と能勢分校が協働し研究を進めています。

今年度も小中高連携の交流がスタートしています。5月24日(金)、能勢分校の体育祭にささゆり学園の4年生が「障がい物競走」で参加しました。また6月18日(火)、ささゆり学園3年生が能勢分校食農流通コースの2年生と一緒にブドウの栽培管理を体験しました。他にも、6月19日(水)には、能勢分校の先生が吉川中学校へ出前授業に行きました。また、秋には東能勢小中学校の7・8年生やささゆり学園8年生が分校を訪れ、学校を見学したり体験授業を受ける予定です。



ささゆり学園4年生



ささゆり学園3年生

第1回分校体験会を開催しました

7月6日(土)に第1回能勢分校体験会を実施しました。まず学校についての説明を行い、続いて能勢分校の特色ある授業を、中学生向けにアレンジしたものを体験しました。この日は、里山起業コースの授業「コンピューターデザインの世界に飛び込もう！」でした。参加した生徒の皆さんは少し緊張しながらも真剣な表情で授業を受けていました。授業の後はクラブ活動の参加です。それぞれが事前に希望していたクラブに分かれ、高校のクラブ活動を体験しました。第2回は9月の予定です。中学生の皆さんの参加をお待ちしています。

学校説明会・農業体験会・分校体験会

右記のとおり、農業授業体験、学校説明会、分校体験会を実施いたします。一度、能勢分校を訪れてみませんか。詳細は随時ホームページに掲載します。

8月17日(土)：農業体験会
9月7日(土)：第2回 分校体験会
10月26日(土)：第1回 学校説明会
11月30日(土)：第2回 学校説明会

農場だより

農場は春から夏にかけて大忙しです。黒米の育苗から田植えに水管理、野菜の育苗から定植。果樹も摘花や摘果を重ねて袋がけします。ブドウについては種無し処理も行います。どれもタイミングを外すことのできない栽培管理が続きます。それらに加え、ミツバチやニワトリの管理も毎日行っています。

【2年生 養蜂実習】

食農流通コースの2年生10名が、初めての養蜂実習に取り組んでいます。初日には、ツナギ服に面布、ゴム手袋を装着しているものの、どの作業もハラハラドキドキです。初めのうちはミツバチの動きや羽音に躊躇していたものの、途中でハチミツを一口味わってからは、ミツバチがかわいらしく思えてきたようで、最近では動作も少しずつスムーズになってきました。今後の養蜂実習も楽しみです。



【3年生 黒米の田植え】

3年生8名が、黒米の田植えをしました。苗箱への播種から育苗にも取り組み、田植え当日は、生徒自身も田植え機も使いながら、みんなで協力して作業を進めていました。9月の収穫に向け、台風や害獣被害が無いことを願っています。



【夏野菜の収穫はじまる】

“大阪のてっぺん”能勢分校農場では、遅霜対策として野菜苗を温室で育てています。トマト、ナス、キュウリ、トウモロコシ、エダマメに加え、今年はズッキーニやクウシンサイなども栽培しており、続々と収穫期を迎えています。また、タマネギはささゆり学園で7月中の給食に1回提供される予定です。



対外活動

- 5月6日(月) 秋鹿酒造さんの酒米の種まきに参加しました。
- 6月2日(日) ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会に参加しました。
大阪府養蜂組合のブースで能勢分校の養蜂の活動を紹介しました
- 8月4日(日) 大阪府産業教育フェアにて生産物の販売実習を行います。
- 9月14日(土) JA大阪北部「親と子の食農体験学習」を実施します。

3年生 課題探究GS(グローバル・スタディ)Ⅱの取組テーマ

3年生は、2年生後期から課題探究GS(グローバル・スタディ)に取り組んでいます。グローバルとはグローバルとローカルを掛け合わせた造語で、グローバルな視点を持って地域の問題解決をめざすという、能勢分校独自の学びを表しています。7月5日(金)に中間発表会を行いました。12月20日(金)には探究の集大成となる最終発表会を、浄るりシアターで開催します。

～2年生「プレ課題探究GS」～

●「能勢菊炭」から能勢の伝統と里山保全を学ぶ●

2年生は自由選択科目「プレ課題探究GS」の授業において、能勢の伝統であり里山保全の取組みでもある「能勢菊炭」について学習しました。

事前講義として、「能勢さとやま創造館」の小谷さんと尾澤さんより、取組まれている事業の意義や地域の現状についてお話いただきました。

後日、「菊炭と里山を未来につなぐ植樹会」に参加しました。当日は気温が30度近くまで上昇するなか、参加した生徒たちは運営スタッフとして、一般参加した方のフォローなどを行いながら能勢菊炭と里山保全の取組みを学びました。

2年生は後期から、能勢・豊能地域の課題を探究する「課題探究GSⅠ」の授業が始まります。後期からの学習に繋がっていくことでしょう。

3年生課題探究GS テーマ案

コース	テーマ
探究コース	芸術文化祭
	ゼロカーボン
食農流通コース	能勢町にハチミツを届けたい
	ドローンの活用方法
里山起業コース	世間の嫌われ者昆虫
	空き家・魅力発信
対人支援コース	手話を広めよう
	子どもの体力



令和5年度卒業生の進路状況

四年制大学

大学名	人数
兵庫医科大学	1
大阪青山大学	1
大阪経済大学	1
大阪商業大学	1
甲子園大学	2
神戸女子大学	1
羽衣国際大学	1
佛教大学	1
小計	9

就職・その他

企業名	人数
(株) コメリ	1
日本郵便(株)	1
小計	2
人数	
その他	7

専門・各種学校



学校名	人数
大阪医療秘書福祉&IT専門学校	1
関西調理師学校	1
京都中部総合医療センター	1
日本工科大学校	1
EPSエンターテイメント大阪	1
OCA大阪デザイン&テクノロジー	1
小計	6

進学合計	15
------	----

令和5年度 卒業者数 合計24名
(男16名 女8名)

【進学】 合計 15名
【就職・その他】 合計 9名

※その他には、進学希望、就労支援、海外留学などを含む

能勢分校卒業生からのメッセージ！

能勢分校 1 期生 大西 琉斗さん
大阪電気通信大学 情報通信工学部 4年生

5月27日(月)～6月7日(金)、大西さんは能勢分校に数学の教育実習生として来てくれました。在校生のみなさんへ熱いメッセージが届いています。



どうも！能勢分校 1 期生の大西琉斗です。先日は、2週間と短い期間でしたが教育実習でお世話になりました。

みなさん、将来の夢はありますか？将来のことを考えて、日々邁進している生徒さんもいれば、特に将来の夢や就きたい仕事がない生徒さんも多いと思います。私もそうでした。進学・就職の選択は、人生の中でも大きな選択枝のひとつだと思います。しっかり考えて、いろんな人から話を聞いて、自分でも調べて、慎重に決断すべきだと思います。

特に夢もなかった私は、ただプログラミングについて学びたいという理由だけで今の大学に進学しました。しかし、後悔はありません！大学で過ごしていく中で、いろんな分野に触れ、いろんな人と交流して、今では自分のしたいことを見つけることができました。目標・夢に向かって早め早めに行動するに越したことはないと思いますが、将来について考えたり、悩む時間も大切だと思います。夢がなくて悩んでいる人は、少しでも興味のある分野があるなら、とりあえず進んでみることもいいと思います。苦勞することはとても多いですが、得るものもとても多いです！ただ、やるからには一生懸命に取り組みましょう！！

また、高校生活を送るにあたって、大切にしたいことがあります。たくさん思い出を作ってください！高校生でいられる時間は3年間と長い人生の中で考えると短いものですが、その3年間は濃密で、特別な3年間です。勉強もとても大切ですが、友達と遊んだり、話したり、馬鹿なことをしたりと何気ない日常も大切にしてください。高校生でいられた3年間を、楽しかったな、戻りたいなと思えるような価値のある思い出にできるように、「今」を楽しんでください！

台湾から短期留学生が来ました



楓加さん(右)と中植さん

5月20日(月)～7月19日(金)、台湾からの短期留学生、澤矢楓加(さわやふうか)さんが来ています。能勢分校では2年生のクラスに入り、一緒に授業を受けています。日本語ボランティアには、能勢分校1期生の中植航太さんも参加してくれ、将来日本の大学を希望している楓加さんにとって有意義な時間になったようです。また能勢で再会できるといいですね。

こんにちは、ふうかです。台湾からきました。能勢に来た初日からみんなが話しかけてくれて嬉しかったです。夏休みまでもっと色々な人といっぱい話したいです。学校の授業で一番好きなのは農業の授業です。野菜の収穫がおもしろかったです。採れたてのトマトはあまくてすごくおいしかったです。部活動は弓道部に参加しています。難しいですが、色々な作法があって興味深いです。天文部にも参加してみたいです。5月末の体育祭では台湾にはない競技を体験したり、クラスのみんたと応援ができて楽しかったです。夏休みには花火大会に行ってみたいと思っています。【澤矢 楓加】

留学生ホストファミリー&サポートメンバー募集

本校では毎年、海外からの長期・短期留学生の受け入れを行っています。

留学生が滞在する家を提供していただくホストファミリー、または、ホストファミリーのサポートや週末だけ留学生と一緒に出かけるなど、留学生のサポートをしてくれる方を随時募集しています。

興味のある方は、担当者までお気軽にお問い合わせください。

連絡先：豊中高校能勢分校

☎ 072-737-0666

国際交流担当：田中 or 川嶋

toyonaka-noseb-hs@gbox.pref.osaka.lg.jp